

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : イマゾン

供給者情報
供給者の会社名称 : レインボー薬品株式会社
企画開発部
住所 : 〒110-0005 東京都台東区上野 1-19-10
電話番号 : 03-6740-7777

推奨用途及び使用上の制限 : 除草剤 農薬登録以外の使用は不可。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

水生環境有害性（急性） : 区分 2
水生環境有害性（長期間） : 区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : H401 水生生物に毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。

廃棄:

P501 残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : イマゾスルフロン:
1-(2-クロロイミダゾ[1,2-a]ピリジン-3-イルスルホニル)-3-(4,6-ジメキシピリミジン-2-イル)尿素
オキサジクロメホン:
3-[1-(3,5-ジクロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジノン-4-オン

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

成分

成分及び含有量	(% w/w)	化審法 No.	安衛法 No.	CAS 番号
<有効成分>				
イマズスルフロン	18.0		8-(2)-1519	122548-33-8
オキサジクロメホン	12.0			153197-14-9
<その他>				
水、界面活性剤等	70.0			
(プロピレングリコール	7.0)	(2)-234	既存物質	57-55-6
(ベントナイト	1.0)			1302-78-9

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者の診察を受ける。
症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。
- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気のところへ移動する。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 予防措置として、水と石鹼で洗う。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。
刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
水で口をよくすすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 応急措置をする者の保護 : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目8の適切な個人保護具を参照のこと。
- 医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 知見なし。
- 特有の危険有害性 : 燃烧生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。
- 有害燃烧副産物 : 炭素酸化物
硫黄酸化物
塩素化合物
炭化水素
アンモニア

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

- 窒素酸化物 (NO_x)
ケイ素酸化物
金属酸化物
- 特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域より退避させること。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項 : 保護具を使用する。
安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及
び機材 : 不活性な吸収材で吸収させる。
多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。
漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。
本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。
本 SDS の項目 13 および 15 において、地方自治体および国の法規制の記載あり。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。
- 安全取扱注意事項 : 蒸気や噴霧の吸い込みを避けること。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
皮膚への長期のまたは反復接触を避ける。
職場曝露調査の結果に基づき、産業衛生および安全性の実行規定に従い取り扱うこと
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
- 接触回避 : なし。
- 衛生対策 : 作業場の近くに眼の洗浄装置と安全シャワーが設置されていることを確認する。

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

保管

- 安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない :
強酸化剤
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
ベントナイト	1302-78-9	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 種粉塵				

設備対策 : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用すること。
- フィルタータイプ : 微粒子用タイプ
- 手の保護具 : 耐薬品性手袋
- 材質 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。この製品が手袋を透過する時間は分かっていない。手袋を頻繁に取り替える。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。
- 備考 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。この製品が手袋を透過する時間は分かっていない。手袋を頻繁に取り替える。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。
- 眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する :
保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 接触後、皮膚を洗浄する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 懸濁液
- 色 : 類白色
- 臭い : データなし
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- pH : 5.1
- 融点・凝固点 : データなし

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

沸点, 初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性 (固体、気体)	: 非該当
可燃性 (液体)	: データなし
爆発範囲の上限 / 可燃上限値	: データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度	: データなし
比重	: 1.11 (20 ° C)
溶解度	
水溶性	: データなし
n-オクタノール/水分配係数	: 非該当
自然発火温度	: データなし
分解温度	: この物質または混合物は自己反応性には分類されない。
粘度	
粘度 (粘性率)	: 233 mPa.s (20 ° C)
動粘度 (動粘性率)	: データなし
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒子サイズ	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: なし。
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物 硫黄酸化物 塩素化合物 炭化水素 アンモニア 窒素酸化物 (NOx) ケイ素酸化物 金属酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

製品 (経口)	: ラット LD50 : ♀ > 2,000mg/kg
(経皮)	: ラット LD50 : ♂ ♀ > 2,000mg/kg
(吸入)	: 急性毒性推定値: > 5 mg/L 曝露時間: 4 h 試験環境: ダスト/噴霧 方法: 計算による方法

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品 : ウサギ 軽度刺激性物

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品 : ウサギ 極く軽度の刺激性あり (洗眼効果あり)

皮膚感作性

製品 : モルモット(Buehler 法) 感作性なし

生殖細胞変異原性

イマゾスルフロン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
結果: 陰性
試験タイプ: DNA 修復
結果: 陰性
試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
結果: 陰性
試験タイプ: 遺伝子突然変異試験
結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験
種: マウス
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

オキサジクロメホン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
結果: 陰性
試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
結果: 陰性
試験タイプ: DNA 修復
結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験
結果: 陰性

プロピレングリコール:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
結果: 陰性
in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)
種: マウス
投与経路: 腹腔内注射
結果: 陰性

発がん性

イマゾスルフロン:

種 : ラット、マウス
投与経路 : 飲み込んだ場合
結果 : 陰性

オキサジクロメホン:

種 : マウス、ラット
結果 : 陰性

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

プロピレングリコール:

種 : ラット
投与経路 : 飲み込んだ場合
曝露時間 : 2年
結果 : 陰性

生殖毒性

イマゾスルフロン:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 二世代生殖毒性試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: ラット、ウサギ
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

オキサジクロメホン:

妊娠に対する影響 : 種: ラット
結果: 陰性
胎児の発育への影響 : 種: ラット、ウサギ
結果: 陰性

プロピレングリコール:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 三世代生殖毒性試験
種: マウス
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性
胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 受精卵および胎児発育
種: マウス
投与経路: 飲み込んだ場合
結果: 陰性

反復投与毒性

プロピレングリコール:

種 : ラット, オス
NOAEL : 1,700 mg/kg
投与経路 : 飲み込んだ場合
曝露時間 : 2年

ペントナイト:

種 : ラット
NOAEL : 500 mg/kg
投与経路 : 皮膚接触
曝露時間 : 90 Days

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): > 1,000 mg/L
曝露時間: 96 h

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 230 mg/L
曝露時間: 48 h
藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻))
: 7.89 mg/L
曝露時間: 72 h
最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.100 mg/L
曝露時間: 72 h

残留性・分解性

プロピレングリコール:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: 98.3 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 301F

生体蓄積性

イマゾスルフロン:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: 0.86

オキサジクロメホン:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 264.5 - 378.0

プロピレングリコール:

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -1.07

オゾン層への有害性

非該当

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

内容物、容器を関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
都道府県知事などの許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name)

: 環境有害物資、液体、他に品名が明示されていないもの
(イマゾスルフロン)

国連分類 (Class) : 9

容器等級 (Packing group) : III

ラベル (Labels) : 9

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)
: 環境有害物資、液体、他に品名が明示されていないもの
(イマゾスルフロン)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))
: 964
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))
: 964
環境有害性 : 該当

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)
: 環境有害物資、液体、他に品名が明示されていないもの
(イマゾスルフロン)
国連分類 (Class) : 9
容器等級 (Packing group) : III
ラベル (Labels) : 9
EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)
: 該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

消防法 危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法 優先評価化学物質

化学名	番号
プロパン-1, 2-ジオール (プロピレングリコール)	106

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物 非該当
製造の許可を受けるべき有害物 非該当

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
 1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

健康障害防止指針公表物質 非該当
 変異原性の認められた化学物質（既存化学物質） 非該当
 変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質） 非該当
 名称等を通知すべき危険物及び有害物 非該当
 名称等を表示すべき危険物及び有害物 非該当
 特定化学物質障害予防規則 非該当
 鉛中毒予防規則 非該当
 四アルキル鉛中毒予防規則 非該当
 有機溶剤中毒予防規則 非該当
 労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物） 非該当

毒物及び劇物取締法 非該当

化学物質排出把握管理促進法

第1種指定化学物質

化学名	番号	含有量 (%)
3 - [1 - (3, 5 - ジクロロフェニル) - 1 - メチルエチル] - 3, 4 - ジヒドロ - 6 - メチル - 5 - フェニル - 2 H - 1, 3 - オキサジン - 4 - オン (別名オキサジクロメホン)	172	12

高圧ガス保安法 非該当

火薬類取締法 非該当

船舶安全法 危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法 施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質

麻薬及び向精神薬取締法 非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物

農薬取締法 農林水産省登録 第 2 4 0 8 4 号

製品名 イマゾン

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日:-
1.0 2019/03/13 4038743-00001 初回作成日: 2019/03/13

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 自社技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、
OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局
<http://echa.europa.eu/>の検索結果
日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

日本産業衛生学会（許容濃度） : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度
日本産業衛生学会 : 許容濃度
（許容濃度） / OEL-M

AIGS - オーストラリア化学物質インベントリー; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; CPR - 管理製品規則; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDSの頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA